

川建設
市長「反対意見を分析」

世界緑内障週間(六)
十二日)に合わせ、日本



覚症状と日常生活について講演・写真。

童が厚紙で作った「ゆんぴんごまを」

スロベニアから来日し、多治見市市之倉町の住吉窯で陶芸を学んでいるイネス・コバチッチさん

多治見

(42)が6日、成果発表の場として、お茶会を開いた。

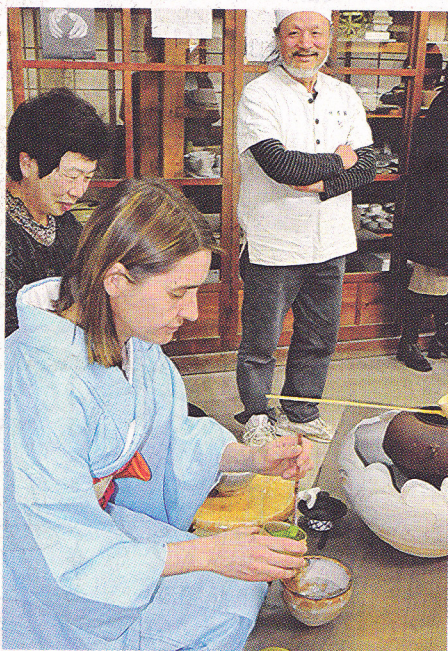
(植木創太)

和の心 祖国で生かす

二月十日から同窯で作陶を始めたイネスさんは、陶芸家小木曾教彦さん(モ)の指導で、主に志野釉について研究。約一カ月かけて、茶碗やぐいのみなど五十点を作り上げた。

作陶の合間には、茶道の作法も学び、陶芸の中につながらる和の心にも触れた。

お茶会では、古川雅典



小木曾さん(右)に見守られながら、お点前を披露するイネスさん(中)＝多治見市市之倉町の住吉窯で

スロベニア人 イネスさん 自作の碗でお点前披露

イネスさんはイギリスの陶芸スタジオで作陶を学んだ後、スロベニアに戻り、自らの陶芸工房を設立。創作活動に励んでいる。今回は釉薬の使い方など、伝統的な陶芸を学ぶために来日した。日本で得た経験と技術

イネスさんは「陶器に対する日本人の思い入れには、歴史の深さを感じた。日本で得た経験と技

住吉窯で作品展示

術を今後の創作活動につなげたい」と感想を語った。

滞在は十二日までの予定。十日までは同窯のギャラリーで作品展も開いている。問い合わせは同窯＝電0572(22)3875＝へ。

東濃



スィセンの精
白土会所属 神野 邦子
(海津町)

多治見支局
〒507-0037
多治見市音羽町4-39
0572(22)3121
Fax(23)5331

恵那通信局
0573(26)2525
Fax(26)5209

中津川通信局
0573(66)1246
Fax(62)0108

可児通信部
0574(62)1501
Fax(61)0270

岐阜支社
〒500-8875
岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地
058(265)0191
Fax(262)8706

(販売)(265)0265
(広告)(266)4791
(事業)(265)0267

いずみ皮膚科

院長 和泉 秀彦

岐阜市鹿島町8 TEL(058)253-1220

土岐の水野さん 繊細な陶器展

関で作品展

土岐市泉町定林寺の伝統工芸士水野英通さん(六)の陶芸作品展「花の器展」が、関市や大皿から、直径数センチ



のはし置き、ボタンで、茶器や花器、アセサリーなど計百五点を展示。表面にはクラや野花が山水画描かれており、絵にわけて凹凸を付けた作品もある。

水野さんは「作品見た人からもらったアイデアを基に、新しい発想の作品に仕上がった」と話している。(中尾吟)

武人のしきたりで一服

土岐 織部流茶道を学ぶ会



古田織部が好んだと伝わる棚飾りを使って茶をたてる桔梗会員(左)＝土岐市文化プラザで

美濃出身の武將で、茶人の古田織部(一五四四-一六一五年)が、土岐市文化プラザで、市民ら百五十人が参加した。

郷土史研究団体「濃源氏フォーラム」二十周年事業として画。千葉県市川市の会本部から招かれた元瑞燕会長らが、講義や茶会などを通して織部の目指した茶道紹介した。

講演会では、同会松本瑞勝理事が「武用の茶道なので、おぎは握りこぶしで」道具は決してじかに床へ置かないなどと、織部流のし

児童が厚紙で作った「ゆんぴんごまを」